

日本生命保険

オフィスの都市緑化に向けた取り組み

日本生命保険は、これまで120年超にわたり、全国でオフィスを開発・運用してきた。

オフィスビルにおいて 都市緑化を推進

最新の開発事例の一つである「赤坂グリーンクロス」は、東京都港区赤坂にある、溜池山王駅に直結する、積水ハウスと共同開発した2024年5月竣工の高層オフィスビルだ。港区赤坂エリアの大街区の官庁街と小街区の町人街の境界に位置する本ビルは、かつての溜池の水と緑が担っていた生態系ネットワークや温熱環境調節機能を少しでも取り戻すべく、地上に加え、屋上や壁面に多様な緑を作り出し、都市に森のような安らぎをもたらしている。

特徴は、地上から頂部まで連続する壁面緑化ファサードだ。壁面にはビル名にもあ

る「クロス(交差)」をイメージさせる構造ブレースを意匠的に構築した。その間隙を活かし、多様な植物構成の壁面緑化を組み込むことで、緑被率を高め、輻射熱を抑制し、都市の温熱環境の改善に貢献している。

また、公開空地「アーバンフォレスト」には落葉樹を多く植栽し、季節の移ろいを楽しめる場を創出している。低層屋上には蝶のためのガーデンを設け、

生物多様性の保全にも寄与している。外構のほとんどが旧建物の地下躯体や人工地盤であり、その上に厚さ約1・5メートルの植栽基盤を敷設している。排水層と人工土壌を組み合わせることで、将来にわたり豊かな緑を健全に育てる仕組みを構築している。

さらには、壁面緑化やアーバンフォレストを持続させるため、開発段階からメンテナンス手法についても議論し、持続可能な効率的な方法を採用している。

持続可能な社会の実現を目指す

こうした自然資本の保全や気候変動対策に加え、将来の都市緑化技術の模範となる高い技術水準が評価され、第24回緑化技術コンクールで最上位の国土交通大臣賞を受賞した。日本生命保険は今後も、都市環境の質向上と持続可能な社会の実現に向け、挑戦を続ける。



© Miyuki Kaneko / Nacasa & Partners Inc.

南東側の壁面緑化とアーバンフォレスト